

令和4年度中野区立江古田図書館事業報告

1 図書館概要

開館日：昭和61年（1986年）2月1日

施設規模：地上2階建（716㎡）

閲覧席：36席（内机20席。パソコン利用席1席含む）

利用者開放インターネット端末：1台

蔵書数：図書資料67,216冊（一般書51,000冊、児童書16,216冊）

視聴覚資料2,031点、購入雑誌90タイトル、購入新聞7紙

貸出冊数：248,909冊（一日平均743冊）※令和2年度比131%増

貸出人数：77,302人（一日平均231人）※令和2年度比124%増

休館日：原則毎月第2月曜日・毎月最終金曜日・年末年始・特別図書整理期間

開館時間：9:00-20:00

※ 蔵書数、貸出冊数、貸出人数は令和3年度実績

2 事業報告（一般）

（1）企画事業

①江古田ハッピー福袋

おすすめ本を3冊セットにした福袋の貸出。毎月、5日、15日、25日に実施。読書の幅を広げてもらうための取り組み。

②修理講座

図書館資料の修理についての講座。持参いただいた本に保護フィルムを貼る体験を合わせて実施。

③きず菜ちゃんを育てよう

中野の野菜「きず菜（空心菜）」の収穫を体験していただき、収穫した野菜をお持ち帰りいただいた。環境緑化や食育について学んでいただくための取り組み。きず菜は、NPO法人グリーンサイエンス21より提供いただいた。

④3館おさんぽスタンプラリー

中野区立上高田図書館と新宿区立西落合図書館との合同企画。各館の紹介と周辺の史跡等の見どころを記したマップ付きのスタンプ用紙を配布し、3館をめぐるスタンプを集めてもらい、3つのスタンプを集めた方にはエコバッグをプレゼントした。

⑤認知症サポーター養成講座

認知症に対する理解を深め、自身の予防や、家族のケアを行い、地域で支え合うための講座。江古田地域包括支援センターから介護支援専門員を講師として招いた。

⑥新春おとしだま福袋

お正月にふさわしい本を3冊セットにした福袋の貸出。1月4日～7日に実施。

⑦本の探し方講座

図書館で本を探すコツを伝える講座。実際に図書館の書架から資料を探してもらうレクリエーションも実施。

⑧旬をいただき元気になる！～春の薬膳～

旬の食材に含まれる栄養と薬膳レシピを紹介する講座。中野区フリー活動栄養士会から栄養士・国際薬膳師を講師として招いた。

(2) 展示

①今日は何の日展示

その日の出来事や特定人物の誕生日等に沿ってテーマを設け展示を作成。平成26年6月より、日替わりで展示内容を変えている。

②健康・医療情報コーナー展示

「江古田を元気に！」を合言葉に「医療・健康」情報の充実に努めている。テーマ毎に本を並べ、パスファインダー（調べ方の道しるべ）を作成し、ピックアップした情報の更新を行っている。

③トピック・コーナー展示

時事的なトピックに合わせテーマを設け、タイムリーな展示を不定期に行っている。

④一般展示

季節や時節に関する一般書の展示を月替わりで実施している。

⑤ガラス・ケース展示

視覚的に楽しんでもらえる展示を階段途中の踊り場にて月替わりで実施している。

⑥えごた・なかの・むかし展示

中野区政90周年を記念し、江古田地区及びJR中野駅周辺の古い写真及び中野区に関する資料の展示を行った。

⑦税を考える展示

国税庁が実施している「税を考える週間」に合わせ、税に対する理解の促進を目的とした展示。中野区が発行したパンフレットの配布も行った。

(3) 地域連携

①松ヶ丘シニアプラザ出張おはなし会

高齢者の生涯学習のきっかけを作り、読書活動の啓発と図書館利用の拡大を目的とし、絵本・紙芝居の読み聞かせを行った。

②哲学堂展示

ガラス・ケース展示コーナーにおいて、哲学堂公園作成により同公園及び施設の紹介を行いながら、図書館が所蔵する関連資料の展示を行った。

(4) その他

江古田図書館のマスコットキャラクター2体を作成し、利用者から名前を募った。多くの応募があり「ししまる」「えごたん」に決定した。

(5) 次年度に向けて

来年度も魅力的な展示やイベント等を行うことで、利用者満足度の向上と、新たな利用者層の獲得に努めていきたいと考えている。

3 事業報告（児童）

(1) おはなし会

①定例おはなし会

毎週土曜日に実施している。

②小さい子向けおはなし会

0歳～2歳を対象としたおはなし会を、第2日曜日の午前、午後を実施している。

③テーマのある子ども会（読み聞かせ及び工作会）

- ・「こども読書の日」こども会：読み聞かせと工作キット（しゃくとりむし）配布
- ・七夕会：七夕に関する読み聞かせと工作会（ミニ七夕セット）
- ・クリスマス会：クリスマスに関する読み聞かせと工作会（ししまる&えごたんオリジナルリース）

④わくわくえほんたいむ

こどもの読書週間（4月23日から5月12日）及び読書週間（10月27日から11月9日）の間、希望者に対して読み聞かせを実施した。

(2) イベント

①江古田ハッピー福袋

おすすめ本を3冊セットにした福袋の貸出。毎月、5日、15日、25日に実施。3歳から6歳向け、小学校低学年向け、小学校中学年向け、小学校高学年向けを準備している。読書の幅を広げてもらうための取り組み。

②わらべうたをたのしむ会

生後6か月から1歳半及び1歳半から3歳の子どもと保護者を対象にわらべうたを紹介し、体験してもらった。

③図書館スタンプラリー

児童書の分類番号を基にスタンプラリーカードを作成。対応した本を借りた方にスタンプを押した。プレゼントを用意し、完成した子どもには「図書館マスターの証」を贈呈した。様々な分野の本に触れていただき、貸出増加に繋げている。

④夏の工作会

- ・3歳から小学生未満の親子を対象とした工作会（ソーマトロープ・アニメーション）
- ・小学校1年生から2年生を対象とした工作会（こま）

⑤みんなで楽しく科学実験～光のふしぎ～

東京大学サイエンスコミュニケーションサークル CAST による光に関する実験と工作（くるキラ万華鏡）。小学校3年生～6年生が対象。

⑥POPを書こう

児童コーナーに用紙等を用意し、POP（おすすめカード）を書いてもらった。POPは夏休み中、児童コーナーに展示した。

⑦図書館のひみつ体験ツアー

図書館のひみつを紹介しながら、図書館の仕事を疑似体験してもらい、本の探し方、調べ学習の方法を学んでもらった。

⑧ハッピーハロウィン

貸出の際に「ハッピーハロウィン！」と合言葉をいってくれた子どもにプレゼント（江古田図書館キャラクターのオリジナルシール）を渡した。

⑨ぽかぽかキッズ・パーティー

親子で楽しく遊んで、免疫を高め、元気になってもらう集まり。絵本・紙芝居の読み聞かせ、クイズ、体操、早口言葉等を行った。

(3) 特集

月替わりで全館統一のテーマを設け、関連資料の展示を行っている。「なかのとしょかんだより」に内容を掲載し、小学校及び関連施設に配布している。

(4) 地域連携・学校連携

①団体貸出

江古田小学校、江原小学校、緑野小学校、第七中学校への学習支援を目的とした貸出を行っている。

②図書館見学会、まちたんけん

緑野小学校に対し図書館見学会及びまちたんけん、江古田小学校に対しまちたんけんを実施した。

③中学生向け体験学習

第七中学校、緑野中学校、富士高等学校附属中学校、明大中野中学校、宝仙学園中学校の職場体験を受け入れた。

④「読んでつなげる心のバトン 2022」への協力

江古田区民活動センターが中心となり実施した、本を通じて地域を繋ぐ取組みに協力した。江古田図書館、東京こども図書館、第七中学校、江古田小学校、江原小学校が連携した。

- 1) ブックリスト「読書ゆうびん 2021 からおくりもの」作成協力
- 2) 「読書ゆうびん 2022」のポストの設置及び図書館賞の選出
- 3) 江古田図書館内での「読書ゆうびんスペシャル展示」の実施
- 4) イベント「本を通して世界を知ろうⅢ」の共催 ※感染拡大の影響により中止

⑤江古田こどもまつり

「江古田地区まつり」の中の「こどもまつり」に協力し、工作に関連した図書館資料の展示をし、図書館についてのアピールを行った。

⑥絵本講座

みずの塔ふれあいの家にて、乳幼児の保護者に絵本の楽しさを知ってもらうため、読み聞かせ、手遊び・わらべうた、絵本の選び方についての講座を行った。

⑦出張おはなし会

北部すこやか福祉センター「ひろば」にて、乳幼児親子に向けて読み聞かせを行った。

(5) ブックスタート事業

0歳児の親子を対象に、絵本を読むきっかけづくりと図書館利用促進を目的として実施。ブックスタート・パック（絵本2冊・布製バッグ等）の配布（随時）及びブックスタートおはなし会（毎月第3木曜日）を行っている。

(6) その他

- ①本の探し方ガイドの作成
- ②夏休み宿題おたすけガイドの作成（小学生向け、読書感想文の書き方及び自由研究）
- ③夏休み宿題おたすけ隊「江古田図書館おすすめ本コーナー」設置
- ④「子どもの権利」展示

「世界こどもの日」に合わせ、こどもの権利条約の啓発を目的とし、関連資料の展示を行った。

(7) 次年度に向けて

今年度を実施した事業の継続及び質的向上を図った上で、地域の小・中学校と連携し、より充実した児童サービスを行いたいと考えている。

4 利用者アンケート結果報告

(1) 結果概要

実施期間：令和4年8月1日（月）～31日（水）

有効回答数：201枚

(2) 分析

① 今年度の評価

1) 館内の案内表示の分かりやすさ 82.8%→91.1%

「満足」「やや満足」合わせて 91.1%と、前年度より 8.3%の増加となった。文字の拡大化及び書架図における現在地を明示した事で評価が向上したと考える。より分かりやすい案内を心掛ける。

2) 蔵書(資料)の充実度 64.8%→71.7%

「満足」「やや満足」合わせて 71.7%と、前年度より 6.9%の増加となった。自由意見では新しい資料及び特定の資料に対する増加の希望が見られた。希望に沿う蔵書構成と見せ方の工夫をしていく。

3) 図書館職員の対応 90.0%→93.1%

「満足」「やや満足」合わせて 93.1%と、前年度より 3.1%の増加となった。明るい挨拶を心掛け、個々の利用者へ親切な対応ができる図書館づくりをしていく。

② ご要望への対応

1) 職員の対応について

好意的な評価や感謝の言葉を多くいただいたが、「必要以上の会話が煩わしい」「ぼそぼそ話し、聞き取りづらい」との指摘もあった。利用者からの視点をお忘れずに、親切、的確かつ明るい接遇を心掛けていく。

2) 蔵書について

新しい書籍、コミック類、語学、古典、雑誌類の充実を求める声があった。また、小学生からは、「こわい本、生き物の本をたくさん置いて欲しい」との声があった。雑誌、児童書も含め、新しいものと入れ替え可能であるか、普遍性のある資料であるかを精査し、魅力ある書架づくりをしていく。

3) 座席について

「ソファを新しくして欲しい」「座席を増やして欲しい」との要望があった。古くなったソファを新調し、増席を行った。

③ 次年度に向けて

「広報」「新規利用者獲得」「蔵書に対する満足度向上」「館内環境整備」等の課題を念頭に置き、利用者と地域に愛される図書館を目指して、安全・安心・便利で地域に貢献できる施設になれるよう努力したいと考えている。